

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:ローソクに灯した火で、直接お線香をあぶるのは不作法ですか？

先日、お盆参りで上記の質問を頂きました。ご家庭のお仏壇にお参りして、お線香を灯す場合に、ローソク立てのローソクにまず着火します。そしてローソクの火で、お線香をあぶってから香炉に寝かせる。こういう準備をしてから、合掌し読経を始めるのが私のお参りの作法です。お葬式の時も同様です。お棺の前の三具足のローソクに着火し、そのローソクの火でお線香をあぶっています。これが不作法なのではないかとの指摘を、ある人から受けたとの質問を頂きました。なるほど。なかなか専門的な内容です。と申しますのが、寺の本堂で、お線香をあぶる場合には、各尊前のローソクに灯した火であぶることは致しません。

ご本尊の裏手など、参詣者から見えない場所で、お線香をあぶってから香炉に寝かせるようにしています。お寺の本堂では不作法なことです。各ご家庭の仏壇では、ごくごく自然なことで、いちいち細かく取り上げる必要のないことと私には思われます。このコーナー始まって以来、質問のみ紹介させて頂いて、答えは一つという形でなく、ケースバイケースで対応すべきことのように思います。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:今の時期の慣用句として正しいのは、次の3つのうち、どれでしょうか？



- ①暑さ寒さも彼岸まで ②暑さ寒さもお盆まで ③のど元過ぎれば熱さ忘れる

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせて頂きます。

先月の答え、③の法螺を吹くでした。もともとお釈迦様の説法を法螺と言いました。

***** 坊守の月イチブログ *****

老人の壁

養老孟司の壁シリーズ、今回は南伸坊さんとの対談、テーマは老人。

一億総活躍社会なんて言われると、寝たきりになれませんね、などと、もう二人とも老人だから言いたい放題、捨てるものなしの潔い発言が目白押しです。養老孟司さんのサバサバした語り口にうまく合いの手を入れつつ突っ込む南伸坊さんのやりとりが笑えます。



年を取ると、耳は聞こえなくなり、目も見えにくくなる、一見不自由ですが、逆に考えると、自分の世界で思いっきり楽しめる、ということです。ものは考えようで、余計な情報に囚われず誰にも遠慮せず目いっぱい楽しむ時間が増えるってことなのかもしれないですね。

よく、「年を取るといけません。」という言葉を目にしますが、それって実は謙遜で、みんな楽しんでるんじゃないの？なんて疑ってしまいそうです。この本は対談形式なので、サクサク読めますから見つけたら是非読んでみて下さいね。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。